アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



2015/11/2

CAR No.34

MOTOR FREAK

スーパーFJ 富士シリーズ 第 5 戦

Beyond

横江 大

CAR No.35

アルビビヨンド ED

CAR No.37

MAKE WINNER

草野 貴哉

アルビメークウィナーED

志垣 涼太

アルビモーターフリーク GIA

CAR No.36

Japan Inc.

Mitsui Impress Development

深村 匠

アルビ GIA 玉三郎 10V ED

深村匠選手が富士シリーズチャンピオン獲得!!



10月31日(土) 予選 11月1日(日) 決勝

富士スピードウェイ 1 LAP=4.563km 出走:15 台

予選結果:深村選手 5 位草野選手 9 位横江選手 14 位志垣選手 15 位決勝結果: リタイヤ草野選手 7 位横江選手 11 位志垣選手 13 位

■10月31日(土) 9時35分予選スタート

天候:曇り コース:ドライ 気温:15℃ 湿度:48% 路温:13℃

深村選手は 3 周目にコカ・コーラコーナーでスピンしコースオフ、タイヤを汚してしまう。これにより予選の作戦が崩れ、単独走行が続きスリップストリームを使えないためタイムが伸びない。また、終始車にジャダが発生してしまいペース自体が上がらず 5 番手にとどまった。草野選手は8番手と0.2秒差で9番手、横江選手が14番手、初出場となる志垣選手が15番手に続いた。

■11月1日(日) 9時49分決勝スタート

天候:晴れ コース:ドライ 気温:13℃ 湿度:52% 路温:15℃

他選手に関係なく10位以内でフィニッシュすればシリーズチャンピオンが決まる深村選手だったが、スタートで10番手の選手がフライングしそのまま加速、1コーナー進入で7番手スタートの選手に追突すると、その後、5番手にいた深村選手に追突し深村選手はマシンが若干浮くほど飛び上がりランオフエリアに弾き出されてしまう。その後、コースに復帰し自力でピットに戻ったものの、マシンリヤに深刻なダメージを負いレース続行は不可能となりリタイヤを喫した。そのため、シリーズチャンピオン獲得には、シリーズランキング2位の小松圭佑選手が2位以下でチェッカーを受ける必要があり、後はレースを見守るしかなかったが、小松選手が3位でフィニッシュしたため見事シリーズチャンピオンを獲得。チームとしては参戦した東北シリーズ、富士シリーズいずれもシリーズチャンピオンを獲ることとなった。

草野選手はスタート直後の深村選手を含むクラッシュの混乱を避けるために 1 コーナーで外まで飛び出したため、一気に 13 番手にポジションダウン。その後は 1 台ずつ仕留めていき 6 台をオーバーテイク。入賞を目指し懸命の走りを見せるが、序盤の後退が大きく響き、7位でフィニッシュした。

横江選手はバトルを展開しながら 11 位でチェッカー。志垣選手は無事に初レースを完走 し 13 位となった。

○志垣選手コメント

当初の予定からだいぶ遅れてしまいましたが、今回ようやく参戦することができました。 今日得たものを活かせるように、来年のフル参戦に向け準備していきたいと思います。ま ずは今年参戦でき、サポートして頂いた皆さんとチームの皆さんありがとうございました。

○横江選手コメント

まだまだ自分のミスが目立ったレースでした。冬の間練習をしっかりやり、来年は結果を 残せるように頑張ります。最後に、チームの皆さんには 1 年間サポートして頂きお礼を言 いたいです、ありがとうございました。

○深村選手コメント

最終戦は予選から流れが良くなくて、結果もリタイヤという今年最悪のリザルトになって しまいましたが、今までずっと表彰台に立ってきたおかげでシリーズチャンピオンを獲る ことができました。1年間サポートして頂いた皆さん、そしてチームの皆さん、自分にチャ ンピオンを獲らせて頂きありがとうございました。

○草野選手コメント

タイム的にも上位陣と戦える状態でしたが、スタート時のアクシデントに巻き込まれ後方に沈む結果となってしまいました。改めて予選の結果が大事だと痛感いたしました。1年間サポートしてくださった皆様ありがとうございました。

○中村監督コメント

早いもので富士も最終戦をむかえました。先々週の東北に続いて富士シリーズも年間チャンピオンを獲得すべく富士に入りました。ポイントリーダー深村選手を始め、草野選手、横江選手、そして新人の志垣選手の4名で参戦いたしました。

志垣選手 GIA 卒業後、今回念願の初参戦となり、諸問題を解決し参戦に漕ぎつけました。今回は流れと、自分に足りないものの確認でした。来年度はフルで参戦いたしますので期待しています。

横江選手 大分 S-FJ にも慣れてきました。来年は自己ベスト狙いではなく、レースをしてくれると思います。速さがちょっぴり出てきました。来年に期待します。

草野選手 並々ならぬ想いで最終戦を迎えました。今回は速さが随所に見られ、自己ベストを更新し尚且つ安定してタイムを出し続けることができるようになりました。来年はチャンピオン争いをしてくれると思います。期待します。

深村選手 まずはシリーズチャンピオンおめでとう。しかし、最終戦はバッドラックで した。良い流れでシーズン終了できなく残念です。が、今年は安定して表彰 台に上がれました。技術だけではなく精神的に成長しました。来年は更なる 飛躍と勉強をしてください。

総じて念願の富士タイトルを奪回することができました。多くの方よりご支援をいただき 誠に有難うございました。来年度もディフェンディングチャンピオンとして努力いたしま す。今後とも応援宜しくお願いいたします。























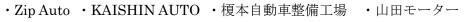






Moty's 新潟日報 品たわら屋





・東栄ボディー ・Car Factory 雅美 ・堀モータース・みがき屋エンマ

・Power Station ・カイツ自動車 ・トップオート ・エムズ ・関根車体